

令和4年度

稲敷市水道事業会計決算の概要



水 道 事 業 会 計

工 業 用 水 道 事 業 会 計

## 令和4年度 水道事業会計決算の概要

### ◎ 総括事項

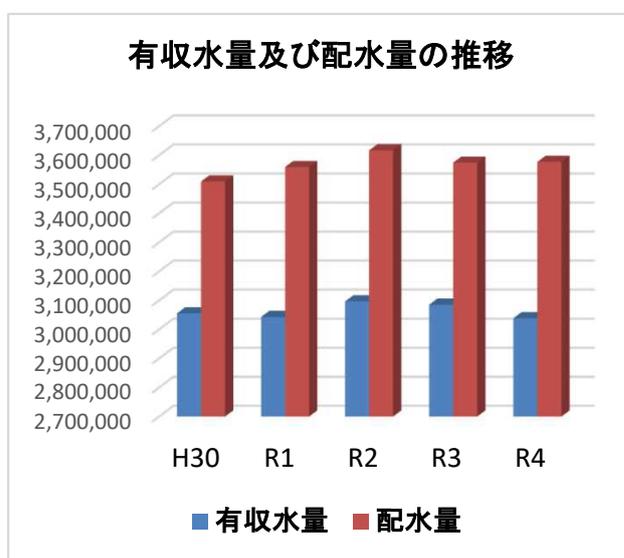
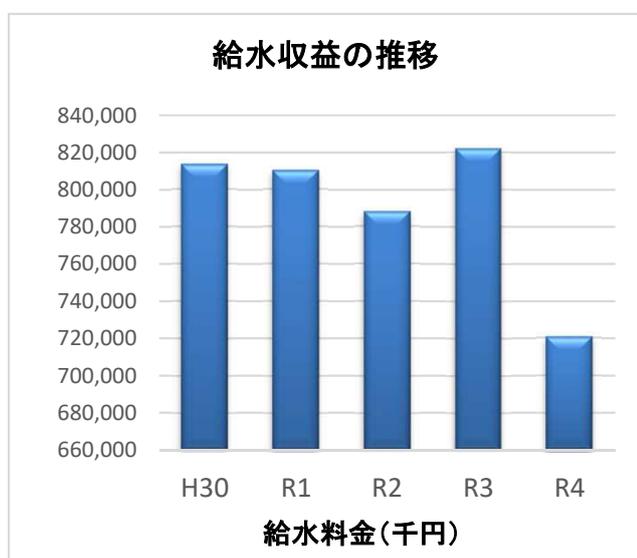
令和4年度末の給水人口は27,448人で、給水件数は11,437件、普及率では74.1%となり、前年度に比べ件数で119件の増、普及率で0.54%の増となりました。

年間配水量3,577,149<sup>m</sup>、有収水量3,038,601<sup>m</sup>で、有収率は84.9%となりました。

事業収益は951,956千円で、うち営業収益の給水収益は720,727千円となり、前年度に比べ12.3%の減少となりました。事業費用は930,670千円で、損益では21,286千円の純利益となっております。

今年度は昨年度に比べ給水収益が大幅に減少しておりますが、これは昨年度に物価高騰対策として基本料金の減免を行ったことによるものです。一般会計からの繰入れの増加により事業収益としては1.81%の増、事業費用で5.46%の増となりました。

資本的支出は313,107千円で、うち建設改良費は、287,160千円となり、江戸崎浄水場急速ろ過機更新工事等6件を実施しました。



### ◎ 業務の実績

項目	単位	令和4年度	令和3年度	増減	増減率(%)
給水区域内人口	人	37,050	37,764	△ 714	△ 1.89
給水人口	人	27,448	27,837	△ 389	△ 1.40
普及率	%	74.1	73.7	0.4	0.54
計画給水人口	人	43,050	43,050	-	-
給水件数	件	11,437	11,318	119	1.05
給水件数(一般家庭用)	件	10,624	10,516	108	1.03
新規加入件数(全体)	件	114	117	△ 3	△ 2.56
新規加入件数(一般家庭用)	件	69	76	△ 7	△ 9.21
導・送・配水管延長	m	587,796	594,738	△ 6,942	△ 1.17
配水能力	日/m <sup>3</sup>	13,910	13,910	-	-
年間配水量	m <sup>3</sup>	3,577,149	3,574,491	2,658	0.07
県水受水量	m <sup>3</sup>	3,204,144	3,234,657	△ 30,513	△ 0.94
自己水源	m <sup>3</sup>	509,745	462,532	47,213	10.21
年間有収水量	m <sup>3</sup>	3,038,601	3,085,368	△ 46,767	△ 1.52
有収率	%	84.9	86.3	△ 1.4	△ 1.62
一日平均配水量	m <sup>3</sup>	9,800	9,793	7	0.07
一日最大配水量	m <sup>3</sup>	11,452	10,718	734	6.85

◎ 比較損益計算書

(単位:円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増減	増減率(%)
<b>事業収益</b>	<b>951,956,221</b>	<b>935,017,874</b>	<b>16,938,347</b>	<b>1.81</b>
営業収益	750,349,530	846,729,474	△ 96,379,944	△ 11.38
営業外収益	201,606,691	88,288,400	113,318,291	128.35
<b>事業費用</b>	<b>930,670,394</b>	<b>882,469,343</b>	<b>48,201,051</b>	<b>5.46</b>
営業費用	916,339,621	873,784,178	42,555,443	4.87
営業外費用	11,760,953	8,453,725	3,307,228	39.12
特別損失	2,569,820	231,440	2,338,380	1010.36
<b>営業利益</b>	<b>△ 165,990,091</b>	<b>△ 27,054,704</b>	<b>△ 138,935,387</b>	<b>△ 513.54</b>
<b>経常利益</b>	<b>23,855,647</b>	<b>52,779,971</b>	<b>△ 28,924,324</b>	<b>△ 54.80</b>
<b>当年度純利益</b>	<b>21,285,827</b>	<b>52,548,531</b>	<b>△ 31,262,704</b>	<b>△ 59.49</b>
前年度繰越利益剰余金	-	-	-	-
その他未処分利益剰余金変動額	-	-	-	-
<b>当年度未処分利益剰余金</b>	<b>21,285,827</b>	<b>52,548,531</b>	<b>△ 31,262,704</b>	<b>△ 59.49</b>

◎ 比較貸借対照表

(単位:円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増減	増減率(%)
固定資産	5,142,151,955	5,156,800,226	△ 14,648,271	△ 0.28
流動資産	1,760,851,955	1,665,096,356	95,755,599	5.75
<b>資産合計</b>	<b>6,903,003,910</b>	<b>6,821,896,582</b>	<b>81,107,328</b>	<b>1.19</b>
固定負債	392,617,914	419,088,543	△ 26,470,629	△ 6.32
流動負債	310,601,872	182,982,013	127,619,859	69.74
繰延収益	1,239,608,920	1,280,936,649	△ 41,327,729	△ 3.23
資本金	3,493,694,273	3,493,694,273	-	-
剰余金	1,466,480,931	1,445,195,104	21,285,827	1.47
<b>負債・資本合計</b>	<b>6,903,003,910</b>	<b>6,821,896,582</b>	<b>81,107,328</b>	<b>1.19</b>

◎ 企業債

令和4年度企業債償還額は25,946,849円で、年度末未償還残高は372,631,107円となります。

未償還残高は、これまで企業債借入れを抑制してきたことから毎年減少し、令和3年度末償還残高と比較しますと6.5%の減となります。

企業債増減額

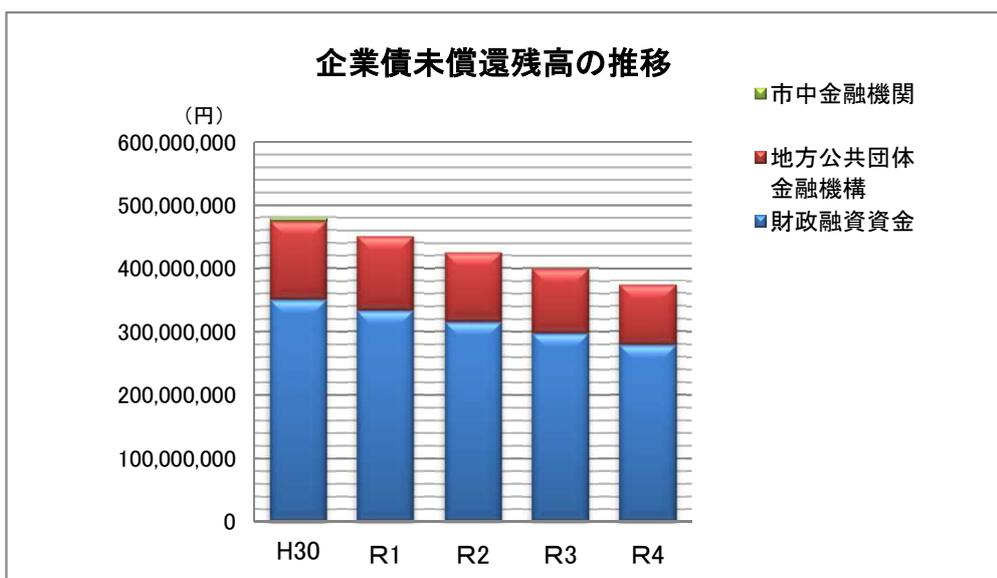
(単位:円)

項 目	発行総額	令和3年度末 残高	令和4年度		償還高累計額	令和4年度末 未償還残高
			借入額	償還額		
財政融資資金	459,600,000	296,671,410	-	18,351,114	181,279,704	<b>278,320,296</b>
地方公共団体 金融機構	176,200,000	101,906,546	-	7,595,735	81,889,189	<b>94,310,811</b>
合 計	635,800,000	398,577,956	-	25,946,849	263,168,893	<b>372,631,107</b>

未償還残高の推移

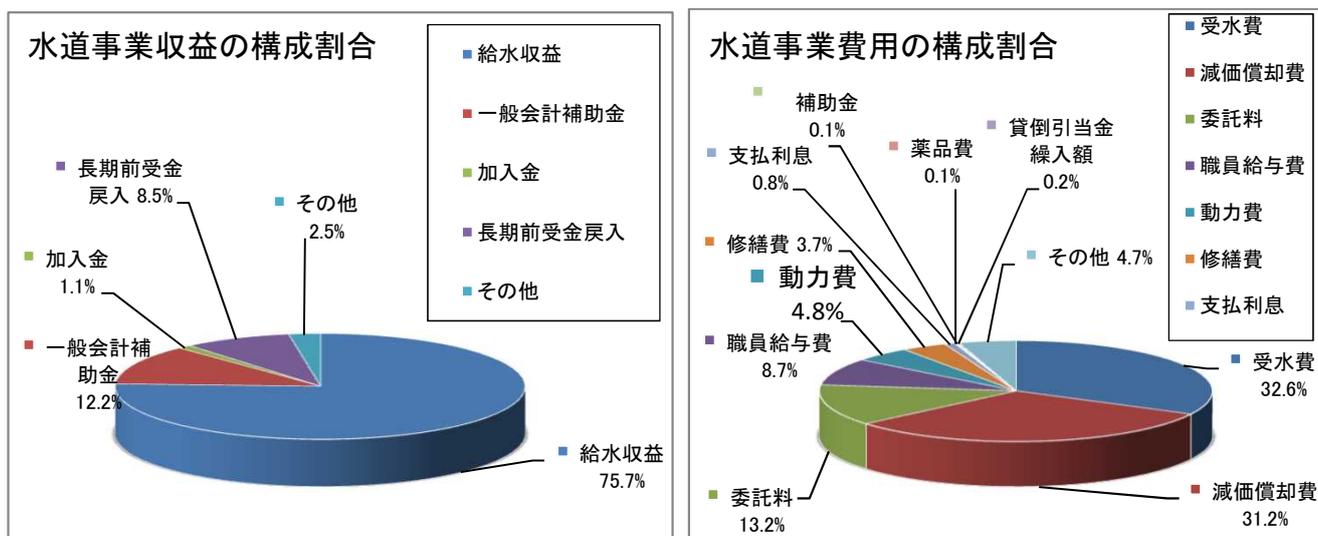
(単位:円,%)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (A)	令和4年度 (B)	対前年度増減額 (C)=(B)-(A)	対前年度増減率 (C)/(A)×100
財政融資資金	349,597,454	332,302,939	314,663,252	296,671,410	278,320,296	△ 18,351,114	△ 6.2
地方公共団体 金融機構	123,781,928	116,639,009	109,348,236	101,906,546	94,310,811	△ 7,595,735	△ 7.5
市中金融機関	5,074,422	-	-	-	-	-	-
合 計	478,453,804	448,941,948	424,011,488	398,577,956	372,631,107	△ 25,946,849	△ 6.5



## 【令和4年度収益的収支】

水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、水道事業を運営するための経費とその財源



### ◎ 水道事業収益の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	令和4年度(A)		令和3年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	720,726,860	75.7	822,200,946	87.9	△ 101,474,086	△ 12.34
一 般 会 計 補 助 金	115,875,904	12.2	840,000	0.1	115,035,904	13,694.75
加 入 金	10,720,000	1.1	11,130,000	1.2	△ 410,000	△ 3.68
長 期 前 受 金 戻 入	81,299,035	8.5	84,460,388	9.0	△ 3,161,353	△ 3.74
そ の 他	23,334,422	2.5	16,386,540	1.8	6,947,882	42.40
収 益 合 計	951,956,221	100.0	935,017,874	100.0	16,938,347	1.81

### ◎ 水道事業費用の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	令和4年度(A)		令和3年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
受 水 費	303,216,700	32.6	304,598,295	34.5	△ 1,381,595	△ 0.45
減 価 償 却 費	289,957,310	31.2	288,194,451	32.7	1,762,859	0.61
委 託 料	122,708,147	13.2	108,006,128	12.2	14,702,019	13.61
職 員 給 与 費	80,753,294	8.7	75,578,225	8.6	5,175,069	6.85
動 力 費	44,134,314	4.8	28,850,568	3.3	15,283,746	52.98
修 繕 費	34,625,554	3.7	29,547,126	3.4	5,078,428	17.19
支 払 利 息	7,847,479	0.8	8,360,796	1.0	△ 513,317	△ 6.14
薬 品 費	1,203,100	0.1	1,000,080	0.1	203,020	20.30
補 助 金	860,000	0.1	2,080,000	0.2	△ 1,220,000	△ 58.65
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	1,535,000	0.2	725,000	0.1	810,000	111.72
そ の 他	43,829,496	4.7	35,528,674	4.0	8,300,822	23.36
費 用 合 計	930,670,394	100.0	882,469,343	100.0	48,201,051	5.46

※令和3年度不納欠損処分2,044,261円

※令和4年度不納欠損処分738,120円

## 【給水原価と供給単価】

### ◎ 給水原価

(経常費用－(受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費＋長期前受金戻入))÷年間総有収水量

効率性の視点から見た指標の判断→「低い」ほうがよい

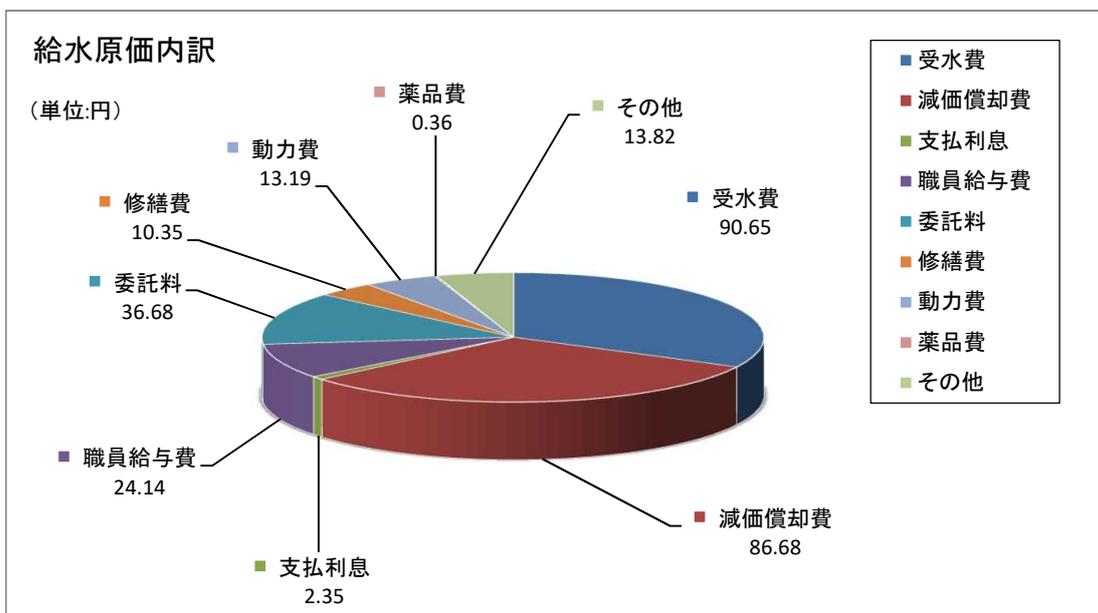
収益につながる水量1m<sup>3</sup>当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもので、1m<sup>3</sup>の水を製造するのにいくらかかるかを示す指標です。水道の生産原価を示しています。

#### ・給水原価とその内訳

給水原価の使途はグラフのとおりです。給水原価278.22円のうち受水費と減価償却費が63.74% (173.33円)を占めています。

(単位:円/m<sup>3</sup>)

区分	4年度	3年度	2年度	元年度
給水原価(A)	278.22	258.22	257.66	259.09



### ◎ 供給単価

給水収益÷年間総有収水量

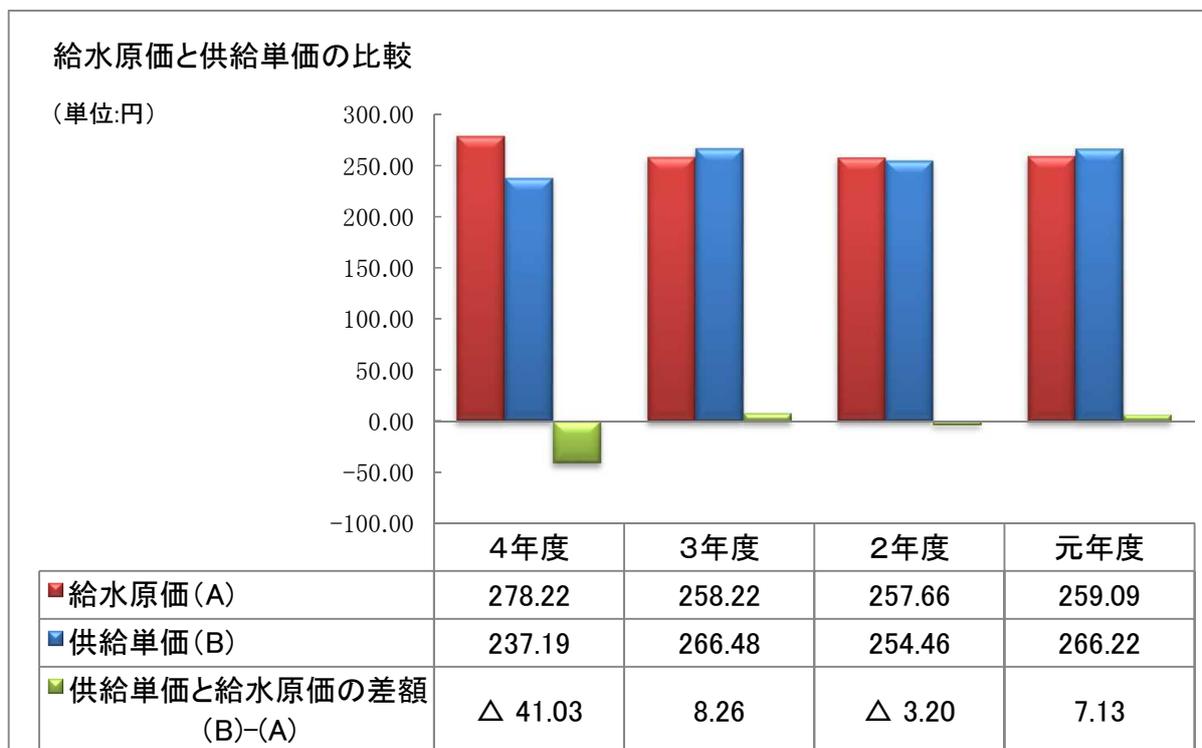
効率性の視点から見た指標の判断→「高い」ほうがよい

有収水量1m<sup>3</sup>当たりについてどれだけ収益を得ているかを表すもので、1m<sup>3</sup>の水を供給したときの平均収入額を見る指標です。

区分	4年度	3年度	2年度	元年度
供給単価(B)	237.19	266.48	254.46	266.22

◎ 給水原価と供給単価の比較

1m<sup>3</sup>当たりの水を供給するのにかかる費用と1m<sup>3</sup>当たりの水道料金の平均収入を比較することにより、原価回収されているかをみることができます。供給単価と給水原価の差が、プラスになると利益が出ていることになります。「給水原価」が「供給単価」を上回っている場合は、給水にかかる費用を補うのに水道料金以外の収入が必要な状況にあるといえます。



令和4年度は物価高騰対策として、8月から3月の8ヶ月分の基本料金について40%の減免を行ったことから、給水収益が大幅に減少しており供給単価の数値が昨年度を下回っています。

減免に係る一般会計からの繰入分も含めて計算すると供給単価は237.19となり、昨年度を上回る数値となりますが、給水原価が増加しており供給単価を上回っている状況です。

一般会計からの繰入金を含めた供給単価と給水原価の比較 (単位:円/m<sup>3</sup>)

区 分	4年度	3年度	2年度	元年度
給水原価(A)	278.22	258.22	257.66	259.09
供給単価(B)	267.94	266.48	266.65	266.22
供給単価と給水原価の差額(B)-(A)	△ 10.28	8.26	8.99	7.13

## 【経営分析】

### ◎ 財務分析表

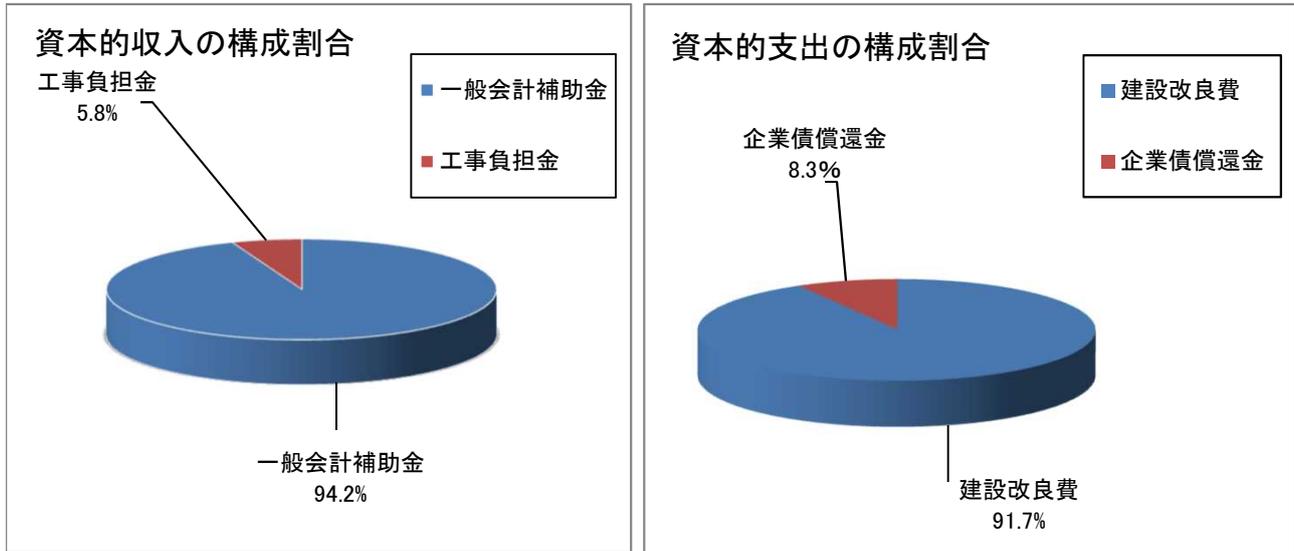
分析項目	令和4年度	令和3年度	県平均 (3年度参照)	解説
1. 自己資本構成比率(%)	89.8	91.2	66.1	総資本に対する自己資本金の占める割合。経営の安定性を判断する指標。
2. 固定資産対長期資本比率(%)	78.0	77.7	89.8	固定資産の調達が長期資本の範囲でまかなわれているかを示し、低いほど安定性が高く100%以下が望ましい。
3. 流動比率(%)	566.9	910.0	333.0	企業の支払い能力を示す。
4. 総収支比率(%)	102.3	106.0	111.4	総費用に対する総収益の割合。総収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
5. 経常収支比率(%)	102.6	106.0	111.4	経常費用に対する経常収益の割合。経常収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
6. 営業収支比率(%)	81.9	96.9	104.4	業務活動によってもたらされた営業収益と、それに要した営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。
7. 企業債償還額対減価償却比率(%)	8.9	8.8	61.1	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却を比較したものである。
8. 給水収益に対する比率(%)				
(1) 企業債償還元金	3.6	3.1	21.8	料金収入に対して企業債償還額の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(2) 企業債利息	1.1	1.0	4.2	料金収入に対して企業債利息の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(3) 減価償却費	40.2	35.1	35.6	料金収入に対して減価償却の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(4) 職員給与費	11.1	9.1	7.9	料金収入に対して職員給与費の比率を表したものの。比率は低いほど良好。

### ◎ 経営分析表

分析項目	令和4年度	令和3年度	県平均 (3年度参照)	解説
1. 施設利用率(%)	70.4	70.5	67.4	配水能力に対する平均の割合を示し、施設の利用度を見るものである。比率は大きいほど良い。
2. 負荷率(%)	85.6	91.4	89.1	施設が年間を通じて有効に使用されているかを示す。比率は大きいほど良い。
3. 最大稼働率(%)	82.3	77.1	75.6	配水能力に対する最大配水量の割合を示し、この率が極端に低いと過大投資を示し、逆の場合は施設の拡充が必要である。
4. 配水管使用効率(m <sup>3</sup> /m)	6.1	6.0	12.6	配水管使用効率は、導・送・配水管の布設延長に対する年間総配水量の割合であり、給水区域の人口密度の影響を受ける。数値が高いほどよいとされている。
5. 固定資産使用効率(m <sup>3</sup> /万円)	7.1	7.0	6.4	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。この比率が高いほど施設が効率的であり、低い場合には遊休資産・未稼働資産についての検討を要する。
6. 供給単価(円/m <sup>3</sup> )	237.2	266.5	200.8	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりどれだけの収益を得ているかを表す。
7. 給水原価(円/m <sup>3</sup> )	278.2	258.2	194.1	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりどれだけの費用がかかっているかを表す。
8. 職員1人当の給水人口(人)	2,287	2,531	4,408	
9. 職員1人当の有収水量(千m <sup>3</sup> /人)	253	280	467	人的資源が効率的に活用されているか否かを示す指標であり、数値が大きいほど職員1人当たりの生産性が高いことを示している。
10. 職員1人当の営業収益(千円)	62,529	76,975	97,929	

## 【令和4年度資本的収支】

水道事業会計のうち、水道施設を建設・整備するための経費とその財源



### ◎ 資本的収入の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	令和4年度(A)		令和3年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
一般会計補助金	18,402,000	94.2	2,760,000	64.6	15,642,000	566.74
工事負担金	1,140,000	5.8	1,514,000	35.4	△ 374,000	△ 24.70
<b>資本的収入合計</b>	<b>19,542,000</b>	<b>100.0</b>	<b>4,274,000</b>	<b>100.0</b>	<b>15,268,000</b>	<b>357.23</b>

### ◎ 資本的支出の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	令和4年度(A)		令和3年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
建設改良費	287,160,472	91.7	205,158,305	89.0	82,002,167	39.97
企業債償還金	25,946,849	8.3	25,433,532	11.0	513,317	2.02
<b>資本的支出合計</b>	<b>313,107,321</b>	<b>100.0</b>	<b>230,591,837</b>	<b>100.0</b>	<b>82,515,484</b>	<b>35.78</b>

### ◎ 資本的収支の不足額 (税込)

(単位:円)

科 目		令和4年度(A)	令和3年度(B)	増減(A)-(B)
<b>資本的収支不足額</b>		<b>293,565,321</b>	<b>226,317,837</b>	<b>67,247,484</b>
補填財源内訳	過年度分損益勘定留保資金	269,264,730	207,694,637	61,570,093
	当年度分損益勘定留保資金	-	-	-
	減債積立金	-	-	-
	建設改良積立金	-	-	-
	その他の(当年度消費税資本的収支調整額)	24,300,591	18,623,200	5,677,391

◎ 工事概況

(1) 建設改良工事の概況

(単位:円)

	工事名	施工内容	契約金額(税込)
令和3年度繰越 建設改良工事	R3稲水 市道整備に伴う椎塚地区配水管布設替工事	ダクタイル鋳鉄管GX形 φ100 L=64.9m ダクタイル鋳鉄管GX形 φ75 L=11.4m 配水用ポリエチレン管 φ100 L=218.3m 配水用ポリエチレン管 φ75 L=14.0m 配水用ポリエチレン管 φ50 L=20.8m 給水管切替 N=7件 地下式空気弁付消火栓 φ75 N=1基 仮設配管 N=1式 舗装復旧工 A=271㎡	30,591,000
	R3繰稲水 本新地区配水管布設替工事	配水用ポリエチレン管 φ150 L=18.9m 配水用ポリエチレン管 φ75 L=3.1m 給水管切替 N=1件 アラミドがい装ポリエチレン管(橋梁添架) L=47.2m 既設管撤去 N=1式 仮設配管撤去 N=1式 舗装復旧工 A=115㎡	20,526,000
令和4年度 建設改良工事	R4稲水 江戸崎浄水場急速ろ過機設備更新工事	ろ過設備更新工事 一式 ろ過砂(材)更生 ろ過機制御弁 ろ過機電磁弁盤 ろ過機現場盤 ろ過機濁度計 ろ過機塗装	159,940,000
	R4稲水 市道整備に伴う手賀組新田地区配水管布設替工事	配水用ポリエチレン管 φ100 L=228.1m	6,314,000
	R4稲水 時崎地区仮設配管布設工事	仮設配管工事 一式	6,028,000
	R4 新利根配水場高压気中負荷開閉器更新工事	高压気中負荷開閉器更新工事 一式 場内整備工	5,500,000
	R4 高田増圧ポンプ場高压気中負荷開閉器更新工事	高压気中負荷開閉器更新工事 一式 場内整備工	4,180,000
	R4稲水 浮島地区戸崎橋橋梁添架管布設替工事に伴う仮設配管工事	仮設配管工事 一式	3,828,000

## 令和4年度 工業用水道事業会計決算概要

### ◎ 総括事項

令和4年度末の給水事業所数は7件で、1日平均契約水量は310m<sup>3</sup>となり、いずれも前年度と同じになります。年間配水量は42,001m<sup>3</sup>で、有収水量は40,363m<sup>3</sup>となりました。

事業収益は9,960千円で、うち給水収益については8,393千円となり、前年度に比べ9.8%の増加となりました。事業費用は6,195千円で、損益では3,766千円の純利益となっております。

### ◎ 業務の実績

項目	単位	令和4年度	令和3年度	増減	増減率(%)
給水事業所数	件	7	7	-	-
配水能力	日/m <sup>3</sup>	870	870	-	-
導・送・配水管延長	m	1,884	1,884	-	-
年間配水量	m <sup>3</sup>	42,001	39,612	2,389	6.0
年間有収水量	m <sup>3</sup>	40,363	36,397	3,966	10.9
有収率	%	96.1	91.9	4.2	4.6
年間契約水量	m <sup>3</sup>	113,150	113,150	-	-
一日平均契約水量	m <sup>3</sup>	310	310	-	-
一日平均配水量	m <sup>3</sup>	115	109	6	5.5
一日最大配水量	m <sup>3</sup>	236	341	△ 105	△ 30.8

### ◎ 比較損益計算書(税込)

(単位:円)

科目	令和4年度	令和3年度	増減	増減率(%)
<b>事業収益</b>	<b>9,960,295</b>	<b>9,208,204</b>	<b>752,091</b>	<b>8.2</b>
営業収益	8,393,388	7,641,330	752,058	9.8
営業外収益	1,566,907	1,566,874	33	-
<b>事業費用</b>	<b>6,194,636</b>	<b>5,114,576</b>	<b>1,080,060</b>	<b>21.1</b>
営業費用	6,194,636	5,114,576	1,080,060	21.1
<b>営業利益</b>	<b>2,198,752</b>	<b>2,526,754</b>	<b>△ 328,002</b>	<b>△ 13.0</b>
<b>経常利益</b>	<b>3,765,659</b>	<b>4,093,628</b>	<b>△ 327,969</b>	<b>△ 8.0</b>
<b>当年度純利益</b>	<b>3,765,659</b>	<b>4,093,628</b>	<b>△ 327,969</b>	<b>△ 8.0</b>
前年度繰越利益剰余金	-	-	-	-
その他未処分利益剰余金変動額	-	-	-	-
<b>当年度未処分利益剰余金</b>	<b>3,765,659</b>	<b>4,093,628</b>	<b>△ 327,969</b>	<b>△ 8.0</b>

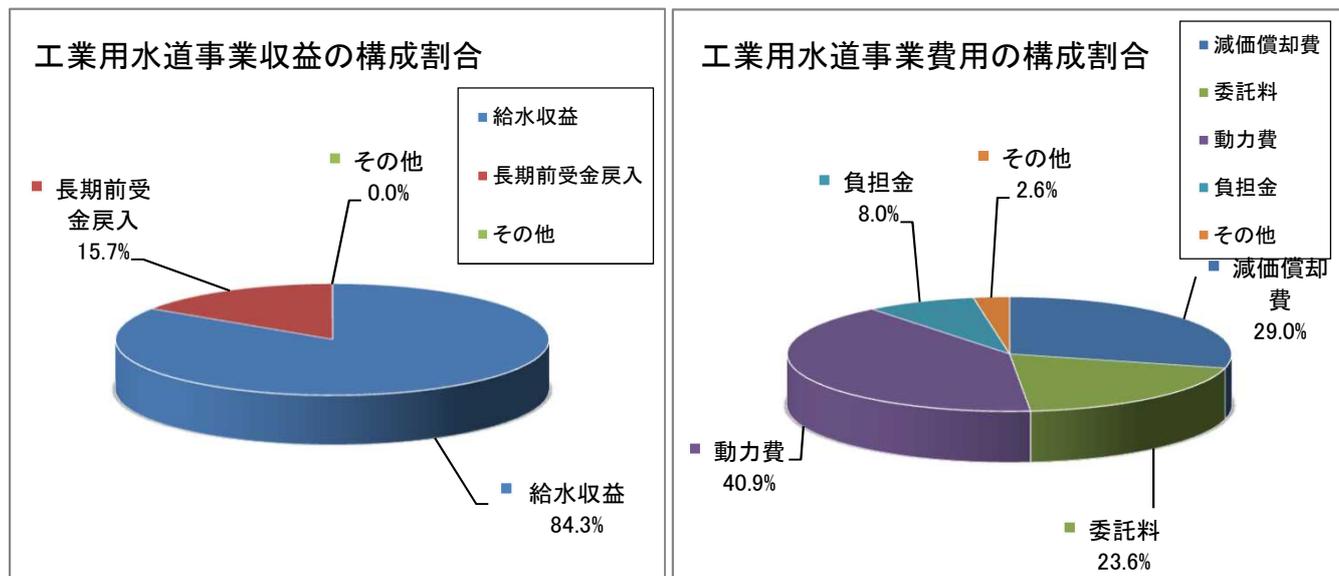
### ◎ 比較貸借対照表

(単位:円)

科目	令和4年度	令和3年度	増減	増減率(%)
固定資産	26,177,262	27,971,750	△ 1,794,488	△ 6.4
流動資産	160,210,011	156,012,226	4,197,785	2.7
<b>資産合計</b>	<b>186,387,273</b>	<b>183,983,976</b>	<b>2,403,297</b>	<b>1.3</b>
固定負債	6,200,000	6,200,000	-	-
流動負債	1,517,804	1,315,678	202,126	15.4
繰延収益	25,443,120	27,007,608	△ 1,564,488	△ 5.8
資本金	96,976,488	96,976,488	-	-
剰余金	56,249,861	52,484,202	3,765,659	7.2
<b>負債・資本合計</b>	<b>186,387,273</b>	<b>183,983,976</b>	<b>2,403,297</b>	<b>1.3</b>

## 【令和4年度収益的収支】

工業用水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、工業用水道事業を運営するための経費とその財源



### ◎ 工業用水道事業収益の構成（税込）

（単位：円）

科 目	令和4年度(A)		令和3年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	8,393,388	84.3	7,641,330	83.0	752,058	9.8
長期前受金戻入	1,564,488	15.7	1,564,488	17.0	-	-
そ の 他	2,419	0	2,386	0	33	1.4
<b>収 益 合 計</b>	<b>9,960,295</b>	<b>100.0</b>	<b>9,208,204</b>	<b>100.0</b>	<b>752,091</b>	<b>8.2</b>

### ◎ 工業用水道事業費用の構成（税込）

（単位：円）

科 目	令和4年度(A)		令和3年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
減 価 償 却 費	1,794,488	29.0	1,978,488	38.7	△ 184,000	△ 9.3
修 繕 費	-	-	529,100	10.3	△ 529,100	皆減
委 託 料	1,210,000	19.5	1,210,000	23.7	-	-
動 力 費	2,531,563	40.9	1,291,515	25.3	1,240,048	96.0
負 担 金	496,270	8.0	65,800	1.3	430,470	654.2
そ の 他	162,315	2.6	39,673	0.7	122,642	309.1
<b>費 用 合 計</b>	<b>6,194,636</b>	<b>100.0</b>	<b>5,114,576</b>	<b>100.0</b>	<b>1,080,060</b>	<b>21.1</b>